

科目名	臨床見学セミナーⅡ（作業療法）	担当教員	久保 勝幸※ 佐藤 拓也※ 三※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----------------	------	---------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	2年次	前期	1単位	演習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR22ABE	①、②、③、④					

科目概要	臨床見学実習Ⅱに向けて、職業人としての常識的行動や責任ある行動、対象者や地域の臨床現場（通所リハビリテーションや訪問リハビリテーション）のスタッフとの望ましい関係、チームワーク、協業について、講義とグループワークによって理解する。実習記録、レポートなどの課題の提出方法、知り得た情報やそのデータの管理方法についても理解する。また、作業療法士を目指す人として必要な豊かな人間性や人を思いやる心についての基礎を理解し、臨床見学実習Ⅱにふさわしい人間性を育む。
学習目標	① 臨床見学実習で求められる課題とルールを理解する。 ② 職業人・医療人としての常識的行動・態度を理解する。 ③ 作業療法士に必要な人間性を理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験教員担当項目
1	ガイダンス	臨床見学実習の概要	臨床見学実習の概要を理解する。	久保
2	実習の心構え1	職業人としての常識的行動・態度	職業人としての常識的行動や態度を理解する。	久保
3	実習の心構え2	コミュニケーション	指導者やスタッフ、患者や利用者とのコミュニケーションを理解する。	久保
4	実習の心構え3	報告・連絡・相談	報告・連絡・相談の方法を理解する。	久保
5	実習の心構え4	知り得た情報の管理方法	知り得た情報の管理方法を理解する。	久保
6	実習の心構え5	実習記録、レポート1	実習記録とレポートの作成方法を理解する。	久保
7	実習の心構え6	実習記録、レポート2	実習記録とレポートの作成方法を理解する。	久保
8	演習1	通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションの概要や役割	実習施設の概要や役割をまとめる。	担当教員 全員
9	演習2	〃	〃	担当教員 全員
10	演習3	〃	〃	担当教員 全員
11	演習4	〃	〃	担当教員 全員
12	演習5	〃	〃	担当教員 全員
13	演習6	通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションの概要や役割の報告	実習施設の概要や役割を報告する。	担当教員 全員

14	演習 7	〃	〃	担当教員 全員
15	演習 8	〃	〃	担当教員 全員
評価方法		施設概要レポート (50%)、課題レポート (50%)		
課題に対するフィードバック		1 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。 2 オフィスアワーの時間帯に質問を受け、回答する。		
教科図書		特に指定しない。		
参考図書		特に指定しない。		
学習の準備		1 臨床見学実習Ⅱに臨むにあたって、これまでの学習内容を理解しておくこと(15分)。 2 事後学習として、レポートの作成、発表資料の作成、発表の準備を行うこと(30分)。		
オフィスアワー		水曜日 16:20～16:50 その他担当教員から連絡する		
担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験		担当教員の実務経験を基に、臨床見学実習に向け、職業人としての常識的行動や責任ある行動、対象者や病院施設のスタッフとの望ましい関係、医療におけるチームワーク、協業について実践的な指導をする。		